

ビオトープフォーラム in 東京2017

ーグリーンインフラから生態系インフラへー

実施報告書

日時：2017（平成29）年6月2日（金） 13：00～16：45

場所：「連合会館」201 会議室（東京都千代田区神田駿河台 3-2-11）

主催：特定非営利活動法人日本ビオトープ協会

共催：自然環境復元学会

後援：環境省、国土交通省、農林水産省、文部科学省、公益社団法人日本造園学会、
一般社団法人日本造園建設業協会、一造会 〈順不同〉

◆フォーラム参加者 計 90名

官庁・後援関係 協会員	3 45	名 名	環境団体関係 学生・学校関係者	4 6	名 名	一般 造園団体・造園業者	15 17	名 名
----------------	---------	--------	--------------------	--------	--------	-----------------	----------	--------

◇総括

「ビオトープフォーラム in 東京 2017」は、2013 年協会創立 20 周年記念で東京を会場に開催した記念フォーラムに次いで、4 年ぶりの東京での開催となりました。

本年度テーマは「グリーンインフラから生態系インフラへ」として、初夏の風薫る神田駿河台の連合会館を会場に、北海道から九州まで全国の同志を集め満席となりました。また、例年通りフォーラムに先立ち昨年度の優秀なビオトープを顕彰する表彰式が行われました。

フォーラム開催にあたり、諸官庁などにご後援頂き、ご来賓として国交省都市局公園緑地景観課緑地環境室・古澤達也室長様にご祝辞を頂戴する予定でありましたが、国会審議で急遽ご欠席となりました。農林水産省から農村振興局整備部設計課環境計画技術係・鈴木啓介係長様にご臨席を賜りました。

開会にあたり当協会櫻井淳会長より、協会発足の理念でもある「完全エコサイクル圏の構築」、言い換えれば生物多様性に配慮した生態系インフラストラクチャー事業の社会的要請に寄与するため、地域の自然環境の保全・復元・維持管理の現場で活躍する技術者・ビオトープアドバイザー養成に力を入れると共に、全国 810 名を超えるアドバイザーネットワークの充実を図り、日頃の研究に加え現場実践を通じて、地球環境の保全に貢献する活動を力強く継続する事等が話され、会員の協力、顧問の先生方のご指導、関係各位のご理解ご支援に謝意が述べられました。

第 1 部では、「第 9 回ビオトープ顕彰」表彰式が行われ、ビオトープ顕彰委員会委員長である横浜国立大学前学長・鈴木邦雄氏の講評と、本年度ビオトープ大賞のアイシン精機株式会社様・株式会社エイディーグリーン様はじめ各受賞者に櫻井会長から表彰状が手渡されました。引き続き事例発表が行われ、「アイシンエコトピア」「清水川ビオトープ」の 2 件の素晴らしい活動事例が紹介されました。（発表資料：別紙フォーラムレジュメ資料集に掲載、顕彰講評・受賞紹介一覧：協会 WEB に UP）

第 2 部は、東京情報大学総合情報学部教授の原慶太郎先生より「生態系インフラがめざすこと-生物多様性・レジリエンス・持続可能性」と題して基調講演をいただきました。「持続可能性（サステナビリティ）」「生物多様性（バイオダイバシティ・生態系サービス）」「レジリエンス（復活力・心理学・生態学）」「グリーンインフラ」「生態系インフラ」それぞれについて、その背景やそのゴールなど解りやすく解説を頂き、私たちのこれからの活動に大きな示唆を頂きました。（講演資料：別紙フォーラムレジュメ資料集に掲載）

続く特別講演においては、東京都市大学名誉教授、株式会社岩村アトリ工代表取締役、協会顧問の岩村和夫先生から「育む緑と建築環境」-その過去と未来から迎える道-と題してご講演いただきました。建築・都市緑化の歴史を古代メソポタミアまでさかのぼり、近代の屋上庭園・鎮守の森からの繋がり、屋上緑化・建築緑化の多彩な事例の紹介。そして、建物の内と外の環境を快適にする熱・水・風の諸データと古今東西の事例、住まいと街のパッシブデザインについて説かれ、緑の多面的な役割の中での住環境についてのご講演でありました。「信託されたインフラに利子をつけて後世に残す」との言葉は深く心に残りました。（講演資料：別紙フォーラムレジュメ資料集に掲載）

閉会の辞は、協会相談役西川勝理事よりフォーラム参加者と関係者への謝意が述べられ閉会しました。

このフォーラムを通じて、地球環境の改善・生物多様性社会・いのちを知る環境学習・コミュニティづくり等の重要性を再認識し、当協会の役割と責務の大きさを実感いたしました。今後も自然との共生をめざした活動を推進し、持続可能な地域づくりに貢献して参ります。

最後に、皆様のご協力に対し心より厚くお礼申し上げます、今回得られた知識・技術を各地で生かして活動されますことをご祈念申し上げます。

2017 年 6 月 吉日

ー別紙レジュメ資料集の通り、盛会にて終了いたしましたー

「ビオトープフォーラム in 東京 2017」の様子



第1部 顕彰表彰・講評・事例発表



第2部 基調講演、特別講演

2日目エクスカージョンの様子



万福寺5号緑地、東京農業大学伊勢原農場 視察